
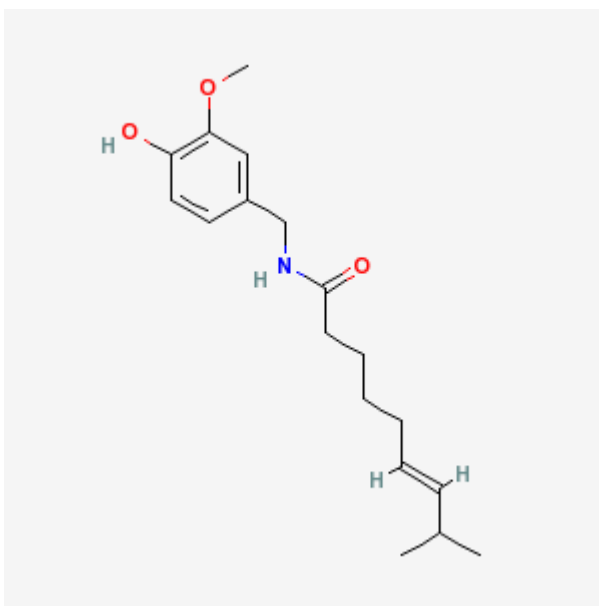


カプサイシン


カプサイシン (capsaicin) はアルカロイドのうちカプサイシノイドと呼ばれる化合物のひとつ。唐辛子の辛味をもたらす主成分で、辛味の指標であるスコヴィル値における基準物質。

赤い色の主成分はカプサイシンではなく**カプサンチン**である。

Name	Capsaicin, Zostrix
MeSH	 68002211
Molecular Weight	305.41188 g/mol
Molecular Formula	C ₁₈ H ₂₇ NO ₃
XLogP	4.6



名前の由来

カプサイシンは唐辛子の学名、「*Capsicum annuum*」(カプサイシウムアニューム) からきている。Capsicumとは、「カプセル状の、空洞の」という意味で、唐辛子やピーマンの学名となっている。→  [Taxonomy: pepper](#)

リンク

- [カプサンチン](#)

[化学構造](#), [食物](#)

From:
<https://bio.edu-wiki.org/> - BioWiki

Permanent link:
<https://bio.edu-wiki.org/%E3%82%AB%E3%83%97%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%82%B7%E3%83%B3>

Last update: 2013/06/09 09:08

